

Title	デザイン理論 44号 目次
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2004, 44
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/53157
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

デザイン理論 44/2004春

目次

学術論文

- 大正・昭和初期の服飾における流行の創出——高島屋百選会を中心に—— 青木美保子 1
明治期における輸出磁器のデザインについて 井谷 善恵 19
——オールドノリタケの薔薇の模様を中心として——
インド軍持浄瓶に関する研究 権 相仁 33
大和時代後期における富本憲吉の芸術 大長 智広 47
——『富本憲吉模様集』(1924,26,27)を中心に——
ジョ・ポンティと「モダニズム」——1920-30年代を中心に—— 平井 直子 63
明治期後半から大正初期の高島屋における竹内栖鳳の立場 廣田 孝 79
山中商会「日光式展示室」について 門田 園子 89
——明治期洋式家具と室内装飾のスタイルに関する一考察——

研究報告

- 在阪百貨店新聞広告の近代化 宮島 久雄 105
——大阪朝日新聞に見る大丸・高島屋の宣伝競争——

意匠学会第45回大会報告

横川 公子 119

例会・大会発表要旨

例会

第177回研究例会(2003年9月 於:京都市立芸術大学)

- ソフィ・カルの映像におけるコミュニケーションの不可能性 余 安里 128
——《ダブル・ブラインド》(1992),《尾行》(1989)を中心に——
近代ガラス史(中欧編)——19世紀末~第2次世界大戦まで—— 鈴木 佳子 130

第178回研究例会(2004年2月 於:大阪大学)

- 型友禪の展開——絹布友禪とモスリン友禪—— 平光 睦子 132
商品デザインを介して受容された近代 神野 由紀 134
——明治・大正期の子供用商品を例に——

大会(2004年11月14, 15, 16日 於:武庫川女子大学)

プレ大会

- マドレーヌ・ヴィオネの衣服観——ドレープ表現を中心として—— 笹崎 綾野 136
衣裳表現の可能性——映画『流れる』にみる—— 吉田 拓 138
カルロ・スカルパの建築をつくるもの——プリオン家墓地を巡って—— 城崎 有沙 140

観光誘致のグラフィック・デザイン		
— 1930年代日本のデザイン戦略について —	山田 優子	142
視覚文化へのコンピュータの影響を探るために	水野 勝仁	144
— レフ・マノヴィッチ『The Engineering of Vision from Constructivism to Computers』から —		
初等情報教育におけるウェブサイト制作実習の教材試作	内藤美千絵	146
大会		
オランダの近代建築と日本	奥 佳弥	148
— 大正から昭和初期における建築文化交流について —		
雑体書の特徴について — 『篆隸文体』と『篆大学』を例に —	全 容範	150
法隆寺金堂・山中羅漢壁画の復元に関する研究	松田 真平	152
教材研究としてのマドレーヌ・ヴィオネ		
— ハンカチーフ・ドレス 1920 —	鈴木 桜子	154
明治期後半から大正初期の高島屋における竹内栖鳳の立場	廣田 孝	156
琳派と雪佳	榊原 吉郎	158
パネル発表		
脳内視覚研究	赤阪季与子	160
『主婦之友』にみる大正期の子供服について	岡林 裕子	162
見えないものを見る……カミ空間の予感	北辻 稔	164
ヒューマンボディデザインの実験	滝口 洋子	166
— 人・街・心・身体・エロス —		
An Experiment of Human Body Design 展覧会報告		
スケルトン方式に於ける室内意匠計画：センチナリオ402	谷本 尚子	168
Mode de Papier II — Coupe —	原田 純子	170
法隆寺金堂壁画・山中羅漢図（一号大壁上）の原寸復元イメージの提案	松田 真平	172
『二十一夜待ち』舞台衣裳デザインコンセプト	森田 雅子	174
— 第45回意匠学会大会パネル発表より —		
書評・図書紹介		
福本繁樹編		
『21世紀は工芸がおもしろい』	山形 政昭	176
日本デザイン学会編集『デザイン事典』	豊原 正智	178
永井隆則編著		
『越境する造形 — 近代の美術とデザインの十字路』	渡辺 真	180
投稿規程・執筆要領		
編集後記		
欧文要旨		